

めざす学校像

- ・明るく、楽しい学校
- ・安全で、美しい学校
- ・地域に開かれた信頼される学校



飯沼小だより

平成31年2月4日
常総市立飯沼小学校
第12号
【児童数 254名】

学校教育目標人間性豊かで、心身ともにたくましく、主体的に行動できる児童の育成

一部抜粋

…

「家庭教育ブック」より

裏面に、茨城県教育委員会発行の家庭教育支援資料「家庭教育ブックつばさ」(小学4～6年生の子をもつ保護者向け)より、参考資料をご紹介します。

ネットやゲームの利用について、家族で話し合いをもち、家庭のオリジナルルールをお子さんと一緒に作ってみてはいかがでしょうか。

子ども
SOS

5

家にいるとテレビやゲームばかり。ついつい

「勉強しなさい!」と口うるさくなってしまいます

家庭学習

現代の子どもは、テレビ・ビデオや漫画、ネット動画やネットゲーム・携帯ゲーム等、勉強より楽しいと感じる遊びに囲まれているので、家庭で学習する習慣を身に付けさせるのはなかなか大変です。ゲームをやっていない、人気のテレビ番組を見ていないことで友達との話題についていけない等、子どもなりの言い分もあるでしょう。

時間が過ぎるのも忘れて、ついテレビやゲームに夢中になって夜遅くまで遊んでしまい、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が崩れてしまうこともあります。

親子でチェック!

オリジナルのルールを子どもと一緒に作ってみよう

ひととおりチェックしてみましょう

1. どんな時に使う 時間が心配

- (例)
- 食事中は使わない
 - お風呂に持ち込まない
 - 夜____時をすぎたら利用しない
 - 利用は1日____分まで
 - 家ではリビングで使う
 - 充電器はリビングにおく

2. なんのために使う やりとりが心配

- (例)
- 自分の個人情報を書かない
 - 悪口を書き込まない
 - 迷惑メールに返信しない
 - チェーンメールを転送しない
 - 知らない人からメールがきたら保護者に報告する

3. 使うための約束 料金が心配

- (例)
- 明細で料金を確認する
 - 料金が____円を超えた分はおこづかいで払う
 - 料金が____円を超えた翌月はケータイを使用しない
 - 着メロ、音楽、ゲーム等は勝手に会員登録やダウンロードをしない



文部科学省「ちょっと待って!ケータイ&スマホ」参照

子どもは学校で多くの時間を勉強に充てるので、家では心身ともにくつろいで、テレビやゲームを楽しむ時間も欲しいと思っているかもしれません。

しかし、ネットゲームなどに熱中すると、インターネット利用を何よりも優先して、自分の意志ではやめられなくなったり、日常生活に支障を来してしまったりと、「ネット依存」に陥ることがあります。「ネット依存」は、脳や睡眠時間、睡眠の質に影響を及ぼす可能性があるほか、健康問題や社会問題を起こしうるものであり、早期発見・早期対策が必要です。そのためにも、インターネットなどメディアに関する知識を親も子どもと一緒に学びましょう。

大切なことは、家でメディアに接する時間などのルールを決め、きちんと守らせることです。「ノーテレビ・ノーゲームの日」をつくってみてはいかがでしょうか。自分から机に向かう習慣を身に付け、集中して学習することで、自分自身をコントロールする力が養われます。「分かるようになった」喜びを実感した子どもにとって、勉強はどんどん楽しいものとなるでしょう。